

令和5年度

# 第20回 全国児童発達支援施設運営協議会

## NAGOYA

メインテーマ

### 地域で支える子育て支援と、未来志向の児童発達支援 ～子どもと家族を地域で支えるために、いま私たちにできること～

期 日

2023 (令和5) 年 **11月28** 日 (火) 13:00 ~ **29** 日 (水) 11:30

会 場

**ウィンクあいち**

愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38  
<https://www.winc-aichi.jp/>

参加費

① 研修参加費 《 会 員 》 **15,400** 円 (うち消費税1,400円)  
《 一 般 》 **18,700** 円 (うち消費税1,700円)



**今大会の資料は電子データでの配信となります**

資料データは、大会の1週間前を目途にダウンロードのご案内をします。  
各自でタブレットやPCに保存するか、資料を印刷して当日ご持参ください。

② イブニングセッション (先着150名) **8,800** 円 (うち消費税800円)

資料代

1冊 **2,200** 円 (うち消費税200円)



**製本資料が必要な方へ**

製本資料をご希望の方向けに受注生産をします。事前にお申込みがない場合は当日のご用意がありませんので、必ず参加費と合わせてご注文ください。

申込締切

10月31日 (火)

申込サイト

<http://www.mwt-mice.com/events/jido-aichi2023>

参加申込みは  
こちら



主 催

公益財団法人日本知的障害者福祉協会 児童発達支援部会  
日本知的障害者福祉協会東海地区会 児童発達支援部会 / 一般社団法人愛知県知的障害者福祉協会

問合せ先

① 研修内容について

協議会実行委員長 伊藤 亜木  
(名古屋中央療育センターみどり学園)  
〒466-0858 名古屋市昭和区折戸町4-16  
[TEL] 052-757-6131 [FAX] 052-757-6115

② 申込み・宿泊について

名鉄観光サービス株式会社 豊橋支店  
担当者：今泉  
〒440-0888 豊橋市駅前大通り2-29  
TEL: 0532-54-8241 FAX: 0532-55-8602

## 研修会趣旨

令和5年4月にこども家庭庁が創設されるとともに、こども基本法が施行されました。

こどもや若者一人ひとりが自分らしく幸せに成長でき、年齢や発達に応じて意見が尊重され、こどもの今と将来にとって最善の利益を優先していく「こどもまんなか社会」の実現を目指し、こども施策を総合的に推進していくこととなります。

こうした節目の年度にあたり、改めてこども施策の全体像を広く理解するとともに、発達支援に携わる関係者が自らの専門性を確認し、各地における確かな発達支援や、家族支援、地域支援を通じて、地域社会における子育てを支えていけるよう、様々な今日的課題を中心に研修を企画しました。

地域社会とともに、子どもたちやご家族が安心して暮らせる社会の実現を目指し、広く発達支援を学ぶ機会としてぜひ愛知県名古屋市にお越しください。

## プログラム〔1日目 - 全体会〕 | 11月28日(火)

12:00~

受付

13:00~13:20

開会式

- 主催者挨拶** 北川 聡子 (公財)日本知的障害者福祉協会 副会長、児童発達支援部会 部会長  
北海道：(福)麦の子会 理事長/むぎのこ児童発達支援センター 園長
- 大会趣旨説明** 伊藤 亜木 第20回全国児童発達支援施設運営協議会 実行委員長  
(公財)日本知的障害者福祉協会 児童発達支援部会 東海地区委員  
愛知県：名古屋市中央療育センターみどり学園 園長
- 次期開催地区挨拶** 塘林 敬規 (公財)日本知的障害者福祉協会 児童発達支援部 九州地区委員  
熊本県：大江学園 園長

13:20~14:20

行政説明

「こども家庭庁の創設と、これからの障害児支援」

**講師** 鈴木 久也 氏 こども家庭庁 支援局 障害児支援課 課長補佐

こども政策の司令塔としてこども家庭庁が創設されたことを受け、これからの障害児支援に期待される専門的役割について、国の施策をふまえてお話しいただきます。

14:20~15:20

基調講演

「障害のある子どもと家族を地域で支えていくために  
- 子育て支援との連携に着目して -」

**講師** 渡辺 顕一郎 氏 愛知県：日本福祉大学 教育・心理学部 教授

地域における子育て支援に着目し、多様な連携体制の下で子どもを支えていくことが求められる時代のなか、障害のある子どもや家族をどのように地域で支えていくのかを考えていきます。

15:40~17:30

シンポジウム

「地域における子育ての拠点として、いま児童発達支援に期待される役割を考える」

- パネリスト** 【児童養護】 岩田 正人 氏 愛知県：名古屋文化キッズホール 施設長  
【里親】 細澤 成光 氏 静岡県：NPO法人静岡市里親家庭支援センター センター長  
【保育所】 志賀口 大輔 氏 静岡県：(福)和光会 理事長/なごみこども園 園長
- アドバイザー  
コーディネーター** 渡辺 顕一郎 氏  
水流 かおる (公財)日本知的障害者福祉協会児童発達支援部会九州地区委員  
鹿児島県：地域生活支援センターあさひが丘 センター長

こども家庭庁の創設によりこども政策が一元化されていくなか、障害児福祉サービスの視点だけではなく、様々なこども福祉に携わる立場からの助言を交えながら、それぞれの地域において障害児支援に期待される役割を再確認していきます。

18:00~19:30

● イブニング・セッション

第1分科会

こどもまんなかの発達支援  
- こどもたちの声を聴いていますか? -

子どもたちには、自分の人生に関係するあらゆる出来事に対し、自分の意見を表出する権利を有しています。発達支援の現場においては、障害の状態によっては工夫を必要とする子どもたちは少なくありません。

そこで、第1分科会では、障害のある子どもたちの意見に耳を傾け、子ども自身が声をあげられるように支援をしていく「子どもアドボカシー」についての基礎や、具体的なツールを交えた現場での具体策について学んでいきます。

08:30~	●	受付	
09:00~09:05	●	趣旨説明	第20回 全国児童発達支援施設運営協議会 実行委員
09:05~10:05	●	講演1 「障害のある子どもの思いを聴く - 子どもアドボカシー入門 -」	
		講師 鳥海 直美 氏	大阪府：四天王寺大学 人文社会学部 教授
10:05~10:15	●	(休憩)	
10:15~11:15	●	講演2 「こどもの心の声を聴くこどもアドボカシー - 「こどものために」から、こどもと「ともに」 -」	
		講師 川瀬 信一 氏	東京都：一般社団法人子どもの声からはじめよう 代表理事 こども家庭庁 参与
11:15~11:30	●	質疑応答	

第2分科会

発達支援とDX  
- デジタルツールが生み出す発達支援の未来 -

ICTやIoTといったデジタルツールは、私たちの暮らしにおいて身近なものになりつつあります。一般企業においては、仕事の効果を高めていくためにデジタルツールの導入は当然のものとされるなか、福祉現場や発達支援の現場においても積極的に導入することで、職員の支援力向上や高度な支援内容の分析がされてきています。

そこで第2分科会では、発達支援の現場で活用される実践を通じて、各事業所における発達支援の進化に向けて考えていきたいと思ひます。

08:30~	●	受付	
09:00~09:05	●	趣旨説明	第20回 全国児童発達支援施設運営協議会 実行委員
09:05~09:35	●	実践レポート1 「福祉事業所のDX - 児童発達支援の現場から -」	
		講師 小田 知宏 氏	千葉県：認定NPO法人発達わんぱく会 理事長
09:35~10:05	●	実践レポート2 「ADOC PROJECTがつくる発達支援の未来 - 子どもも家族も、みんなで作る支援計画アプリ -」	
		講師 埴 杉子 氏	愛知県：名古屋女子大学 医療科学部 作業療法学科 助教授
10:05~10:25	●	(休憩)	
10:25~11:30	●	対談 「デジタルは難しい? 最新技術が広げる発達支援の可能性」	
		ゲスト 小田 知宏 氏 埴 杉子 氏	

第3分科会

## 子育てを応援する家族支援 - 子どもが安心して育つ家庭を支えるために -

子どもの発達支援を進めていくうえで、家族を応援していくことはとても重要なこととなります。子育てをする家族にとって、障がいの特性や発達の状態に応じて子どもの育ちや暮らしの安定を願うことはもちろんのこと、家族自身の心理的安全も大切になってきます。

そこで第3分科会では、家族支援において大切にしていくことを、子育てを経験した親の立場を交えながら子育てを応援する家族支援のありようについて考えていきます。

08:30～	●	受付	
09:00～09:05	●	趣旨説明	第20回 全国児童発達支援施設運営協議会 実行委員
09:05～09:55	●	講演 「家族支援の基本を考える」	
		講師	坪井 裕子 氏 愛知県：名古屋市立大学 人間文化研究科臨床心理コース 教授
09:55～10:05	●	(休憩)	
10:05～11:30	●	鼎談 「子どもが安心して育つ家庭環境をどのように支えられるか」	
		ゲスト	荻野 ます美 氏 愛知県：NPO法人ゆう 相談支援専門員・当事者家族 岡田 宏子 氏 岐阜県：岐阜県発達障害者支援センター 発達相談員 坪井 裕子 氏

第4分科会

## 子どもを育む地域支援 - 障害のある子どもと家族を支える地域づくりを考える -

子どもと家族が安心して地域で暮らすうえで、それぞれの地域社会が多様性に富み、子育て家庭が気兼ねなく交流できる地域の繋がりを通じて、家族が孤立しないように支えていくことが重要となります。

そこで第4分科会では、子どもを育むための地域支援のあり方について先駆的事例を交えながら、私たちに今こそできることを考えていきます。

08:30～	●	受付	
09:00～09:05	●	趣旨説明	第20回 全国児童発達支援施設運営協議会 実行委員
09:05～09:55	●	講演 「乳幼児期から障害のある子どもと家族を地域で支える未来」	
		講師	奥山 千鶴子 氏 神奈川県：NPO法人子育てひろば全国連絡協議会 理事長
09:55～10:05	●	(休憩)	
10:05～11:30	●	シンポジウム 「障害のある子どもと家族を支える地域づくりを考える」	
		パネリスト	小島 育子 氏 愛知県：アイステップ名古屋 代表・当事者家族 田之畑 有美 氏 神奈川県：認定NPO法人びーのびーの 横浜市港北区地域子育て支援拠点どろっぶ 施設長 伊藤 智恵子 氏 静岡県：一般社団法人みらいTALK 理事
		コーディネーター	奥山 千鶴子 氏